

総務省承認 No.23429

承認期限 平成16年3月31日まで



農林水産省

調査農家氏名 _____ 電話番号 () _____

平成15年度

環境保全型農業推進農家の経営分析調査

水 稻 調 査 票

この調査は、環境保全型農業に取り組んでいる農家の皆様方の取組状況等を把握することにより、同農業を推進するための普及並びに同農業の持続的・安定的な発展を図るための資料を整備することを目的に実施するものです。調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

調査票への記入に当たっては、別添記入例を参考にして下さい。
また、本調査に関してのご質問等につきましては、下記の連絡先におたずね下さい。なお、調査票の回収は 月 日にお伺いする予定です。

連 絡 先	
氏 名	
電 話 番 号	

【基本指標】

局・取りまとめ センター番号	センター番号	市町村番号	地域類型区分	栽培形態区分		整理番号
				1次	2次	

* 網掛け部分については職員が記入します。

I お宅の経営概況

1 農業就業者数を記入してください。(ウ)

家族		雇用	
男	女	男	女

注：平成14年の1年間で農業に60日以上従事した者の人数を記入してください。

2 お宅の経営耕地面積を記入してください。(a)

	自作地	借入地	計
経営耕地面積			
うち田面積			

注：平成14年1月1日現在の経営耕地面積を記入してください。

3 お宅の環境保全型農業に取り組んでいる水稻について、栽培形態別に作付面積を記入してください。(a)

有機農業	無農薬・無化学肥料栽培	無農薬栽培		無化学肥料栽培			減農薬又は減化学肥料栽培							
		化学肥料50%以上節減	化学肥料50%未満節減	化学肥料の節減なし	農薬50%以上節減	農薬50%未満節減	農薬の節減なし	減農薬栽培・減化学肥料栽培	減農薬栽培		減化学肥料栽培			
		化学肥料50%以上節減	化学肥料50%未満節減	化学肥料の節減なし	農薬50%以上節減	農薬50%未満節減	農薬の節減なし	化学肥料50%未満節減	化学肥料の節減なし	農薬50%未満節減	農薬の節減なし			

4 お宅の水稻の生産状況及び環境保全型農業開始からの経過年数を記入してください。

	栽培形態区分	作付面積	収穫量				主な品種の作付状況(上位2品種)				経過年数(年)
			a	kg	kg	円	1位		2位		
							うち販売量	販売金額	品種名	作付面積	
水稻合計		a	kg	kg	円		a		a		
有機農業	1										
無農薬・無化学肥料栽培	2										
無農薬栽培	3										
無化学肥料栽培	4										
減農薬又は減化学肥料栽培	5										
通常栽培											

作付面積が最も大きい栽培形態区分の番号に○印を付してください。この○印を付した栽培形態が、以下の設問の「調査対象水稻」となります。

注) 1 水稻合計、調査対象水稻及び通常栽培に係る部分のみ記入してください。

2 平成14年産水稻の作付面積及び収穫量を記入してください。

II 農業経営収支

お宅の農業経営について、平成14年産の農業全体の収支と調査対象水稻（Iの4で○印を付したもの）に係る支出状況について記入してください。（表の二重枠内のみ記入してください。）

1 農業経営全体の収入額を記入してください。

収入額計 (農業全体)	水稻部門の収入額		通常栽培に係る収入額
	うち調査対象水稻に係る収入額		
円	円	円	円

2 雇用労賃～農業雑支出について以下の事項を記入してください。（〔費用区分内訳〕を参考にしてください。）

なお、「調査対象水稻に係る支出額の割合」については、調査対象水稻の栽培期間における使用割合又は調査対象水稻の農業収入に占める割合（調査対象水稻の収入割合）で記入してください。

費用区分	支出額計(円) (農業全体)	水稻部門の支出額の割合(%)		水稻部門の支出額(円)	うち調査対象水稻に係る支出額(円)	通常栽培に係る支出額(円) (又は、環境保全型と通常栽培との比率(%))
		うち調査対象水稻に係る支出額の割合(%)				
雇用労賃						()
種苗						()
光熱動力						()
小農具・農具修繕						()
農用建物維持修繕費						()
土地改良及び水利費						()
諸材料						()
賃借料及び料金						()
支払小作料						()
物件税(農業負担分)						()
公課諸負担(農業負担分)						()
負債利子(農業負担分)						()
販売経費						()
企画管理費(農業負担分)						()
農業雑支出						()

注) 通常栽培に係る負担額を環境保全型と通常栽培の比較により把握した場合は、()内にその比率を記入し、同率を基に実額を計算記入する。

〔費用区分内訳〕

種苗	購入の種子、苗及び自給の種子、苗
光熱動力	重油、軽油、灯油、ガソリン、混合油、モーター油、マシン油、グリス、電気料金、水道料金、ガス料金等
小農具・農具修繕	くわ類、かま類、その他小農具、農業被服費、農用自動車修繕費、農用自動車任意保険
農用建物維持修繕費	火災保険料、建物維持修繕費
諸材料	苗床材料(稲わら、麦わら、ポリエチレン、ビニール等)、縄、バインダー用結束ひも、結束わら、選種用塩、くん炭等
賃借料及び料金	農作業委託料、施設・機械等使用料、その他賃借料・料金
物件税(農業負担分)	固定資産税(土地を除く)、自動車税、軽自動車税、水利地益税、自動車重量税、自動車取得税、都市計画税
公課諸負担(農業負担分)	集落協議会費、農業協同組合費、農事実行組合費、農業共済組合賦課金、自動車損害賠償責任保険
企画管理費(農業負担分)	農業経営に係る研修・講習会等の受講料・交通費、テキスト代、電話代、ファクシミリ回線使用料

3 農機具、生産管理機器について以下の事項を記入してください。(区分(番号)欄は、[区分内訳(番号)]から選択してください。)

なお、「調査対象水稻に係る使用割合」については、調査対象水稻で使った割合を記入してください。(表の二重枠内のみ記入してください。)

区分 (番号)	購入時の 新古区分	取得 年月		取得価額 (円) ①	調査対象 水稻に係る 使用割合 (%) ②	耐用年数		減価償却費 (円) ⑤=①×0.9/(③ +④)	調査対象水稻に 係る負担額 (円) ⑥=⑤×②/100	通常栽培に係る負担額 (円) (又は、同面積 における通常栽培の 使用割合(%))
		年	月			経過 ③	将来 ④			
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
						計				

注) 通常栽培に係る負担額の把握に当たって通常栽培への使用割合で把握した場合は、()内にその使用割合を記入し、同割合を基に負担額を計算記入する。

(所有している農機具等を2桁の番号で記入してください。)

[区分内訳(番号)]

01	原動機	11	ミスト機	20	トレーラー	30	ファクシミリ
02	揚水ポンプ	12	自動爆音機	21	自動二輪車	31	複写機
03	トラクター	13	バインダー	22	貨物自動車	32	ワープロ
04	ハロー	14	コンバイン	23	乗用貨物車	33	パソコン
05	プラウ	15	脱穀機	24	乗用車	34	その他の生産管理機器
06	肥料散布機	16	もみすり機	25	その他の農機具		
07	肥料粉碎機	17	乾燥機類				
08	肥料粉末機	18	田植機				
09	肥料配合機						
10	噴霧機						

4 建物について以下の事項を記入してください。(区分(番号)欄は、[区分内訳(番号)]から選択してください。)

なお、「調査対象水稻に係る使用割合」については、調査対象水稻で使った割合で記入してください。(表の二重枠内のみ記入してください。)

区分 (番号)	購入時の 新古区分	取得 年月		取得価額 (円) ①	調査対象 水稻に係る 使用割合 (%) ②	耐用年数		減価償却費 (円) ⑤=①×0.9/(③ +④)	調査対象水稻に 係る負担額 (円) ⑥=⑤×②/100	通常栽培に係る負担額 (円) (又は、同面 積における通常栽培の 使用割合(%))
		③	④							
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
	新・古									()
						計				

注) 通常栽培に係る負担額の把握に当たって通常栽培への使用割合で把握した場合は、()内にその使用割合を記入し、同割合を基に負担額を計算記入する。

(所有している建物を2桁の番号で記入してください。)

[区分内訳(番号)]

40	住宅	50	用水路	56	肥料溜
41	納屋	51	暗きよ	57	支柱類
42	倉庫	52	コンクリートけい畔	58	農用井戸
43	作業場	53	床締め	59	稲架
44	農機具置き場	54	たい肥盤	60	作業道
45	たい肥舎	55	温床わく		
46	その他の建築物				

Ⅲ 肥料・農薬の使用状況

1 肥料の施用状況

(1) 調査対象水稻に投入した14年産に係る肥料の数量及び単価を記入してください。(表の二重枠内のみ記入してください。)

ア 化学肥料

化学肥料とは、肥料のうち化学合成されたものをいいます。たい肥等に化学肥料を添加してあるものや、化学合成された土壌改良資材、農薬入り肥料も含めます。

	名称(商品名)		投入量 ①		単価 ② (円/単位)	価額 ①×②
	種類			単位		
1						円
2						
3						
4						
5						
小 計						円

イ 非化学肥料

非化学肥料とは、化学合成されていない有機質肥料、土壌改良資材及びその他天然物質のことをいいます。

	名称(商品名)		投入量 ①		単価 ② (円/単位)	価額 ①×②
	種類			単位		
1						円
2						
3						
4						
5						
小 計						円
合 計						円
通常栽培の肥料費						円

(2) 調査対象水稻10a当たりの有機物の投入量を記入してください。

	投入量		通常栽培の投入量と比べてどの程度の比率ですか。
		自給	
堆きゅう肥	kg	kg	%
稲わら			
その他			

(3) 土づくりのため、土壌診断を行っていますか。

行っている	行っていない
1	2



(4) (3)で1に○を付した農家に伺います。

土壌診断は誰が行っていますか。またその費用を記入してください。(主なもの1つに○印)

	自家	農協	普及センター	農業試験場	その他
	1	2	3	4	5
費用(円)					

2 農薬の散布状況

(1) 調査対象水稻に投入した14年産に係る農薬の数量及び単価を記入してください。(表の二重枠内のみ記入してください。)

なお、農薬入り肥料は「1(1)ア 化学肥料」に記入してください。

ア 化学合成農薬

化学合成農薬とは、農薬のうち化学合成された農薬をいいます。

	名称(商品名)	投入量①		単価② (円/単位)	価額 ①×②
		種類	単位		
1					円
2					
3					
4					
5					
小 計					円

イ 非化学合成農薬

非化学合成農薬とは、化学合成されていない農薬のことで、天然の鉱物質材、植物、動物及びそれから抽出、抽出又は調製した天然物質をいいます。

	名称(商品名)	投入量①		単価② (円/単位)	価額 ①×②
		種類	単位		
1					円
2					
3					
4					
5					
小 計					円
合 計					円
通常栽培の農薬費					円

(2) 農業節減のため、技術的にどのようなことを行っていますか。(該当するもの全てに○印)

病害虫発生予察による適期防除	病害虫抵抗性品種の利用	再生紙マルチの利用	小動物(アイガモ等)の利用	人力・動力除草機による除草	その他
1	2	3	4	5	6

(2)で4に○印を付した農家に伺います。

小動物を販売しましたか。

販売した	販売しない
1	2

小動物を販売した農家に伺います。

その販売量と金額を記入してください。

小動物名	販売量	販売金額
		円
合計		

(3) 農業薬剤を節減したことによって増加・減少した栽培に係る費用について10a当たりで記入してください。

資材名等	増減区分	数量	単価	価額	資材名等	増減区分	数量	単価	価額
		①	②	①×②			①	②	①×②
				円					円
					合計				

注) 1 増減区分には費用の増加は1、減少は2を記入してください。

2 合計の価額欄は、資材ごとの価額を増減区分により加減し算出する。

IV 農機具等の整備状況

環境保全型農業を始めるために新たに整備した農機具や農用施設があれば記入してください。

農機具	農用施設

V 販売(出荷)状況

調査対象水稻の販売(出荷)先別販売量と販売金額を記入してください。

出荷計	農協	消費者に直売	生協等消費者団体	農協以外の集出荷業者	その他
販売量 kg					
販売金額 円					

VI 水稲作業別労働時間

調査対象水稲について、Iの1で記入した「家族」及び「雇用」の人数分合計の作業別労働時間を記入してください。(表の二重枠内のみ記入してください。)

		作業区分	家族 (時間)	雇用 (時間)	家族・雇用合計 (時間)	同面積を通常栽培で行った場合の労働時間 (時間)
生 産 労 働	直 接 労 働	種子予措・育苗				
		耕起整地				
		基肥				
		田植・直播き				
		追肥				
		除草				
		管理				
		防除				
		刈取・脱穀				
		乾燥				
		生産管理				
	間 接 労 働	たい肥等生産				
		その他				
販 売 ・ 管 理 労 働	出荷労働					
	記帳事務					
	その他					
水稲労働時間計						

注) 1 1年間において自営農業に60日未満従事した者の労働時間を含めて記入してください。

2 「記帳事務」には、環境保全型農業の表示・認証を受けるために必要な記帳事務のうち、調査対象水稲に係る時間を記入してください。